

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 11 月 1 日 (2007.11.1)

【公開番号】特開 2002-122911 (P2002-122911A)

【公開日】平成 14 年 4 月 26 日 (2002.4.26)

【出願番号】特願 2000-318323 (P2000-318323)

【国際特許分類】

**G 0 3 B 15/05 (2006.01)**

**G 0 3 B 19/02 (2006.01)**

**H 0 4 N 5/225 (2006.01)**

**H 0 4 N 5/238 (2006.01)**

【F I】

G 0 3 B 15/05

G 0 3 B 19/02

H 0 4 N 5/225 F

H 0 4 N 5/238 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 9 月 13 日 (2007.9.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 被写体を照明するためのストロボ発光部と、調光センサの受光量に基づき前記ストロボ発光部の発光量を制御する発光量制御手段と、前記発光部からの光を前記発光量制御手段に導く導光装置とを備えたストロボ発光装置であって、

前記導光装置の射出部と前記調光センサの間に拡散部材を設けることを特徴とするストロボ発光装置。

【請求項 2】 前記導光装置の射出部と前記調光センサを互いに直交する方向に配置することを特徴とする請求項 1 に記載のストロボ発光装置。

【請求項 3】 被写体を光学的に結像させる光学手段と、前記光学手段により作られた光学的被写体像を記録する記録手段とを具備した撮像装置であって、

請求項 1 または 2 に記載のストロボ発光装置を備えたことを特徴とする撮像装置。

【請求項 4】 被写体を光学的に結像させる光学手段と、前記光学手段により作られた光学的被写体像を電気信号に変換する撮像手段と、前記撮像手段により撮影された被写体の画像信号を記録する記録手段と、撮影された画像を表示する表示手段とを具備した撮像装置であって、

請求項 1 または 2 に記載のストロボ発光装置を備えたことを特徴とする撮像装置。

【請求項 5】 被写体を光学的に結像させる光学手段と、前記光学手段により作られた光学的被写体像を電気信号に変換する撮像手段と、前記撮像手段により撮影された被写体の画像信号を記録する記録手段と、撮影された画像を表示する表示手段とを具備した撮像装置であって、

収納位置と発光位置に移動可能に構成されたストロボ発光部を含む第一のユニットと調光センサの受光量に基づき前記ストロボ発光部の発光量を制御する発光量制御手段を含む第二のユニットから構成され、前記第一のユニットに前記発光部からの光を前記発光量制御手段に導く可撓性の導光装置が配置され、前記第一のユニットと前記第二のユニットを合体した状態で前記導光装置の射出部が前記発光量制御手段の受光部に対向するようにし

たことを特徴とする撮像装置。

【請求項 6】 前記導光装置が最短経路で配置されるようにしたことを特徴とする請求項 5 に記載の撮像装置。

【請求項 7】 前記導光装置の射出部と前記調光センサの間に拡散部材を設けることを特徴とする請求項 5 に記載の撮像装置。

【請求項 8】 前記導光装置の射出部と前記調光センサを互いに直交する方向に配置することを特徴とする請求項 5 ～ 7 のいずれか 1 項に記載の撮像装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

また、本発明の撮像装置は、被写体を光学的に結像させる光学手段と、前記光学手段により作られた光学的被写体像を電気信号に変換する撮像手段と、前記撮像手段により撮影された被写体の画像信号を記録する記録手段と、撮影された画像を表示する表示手段とを具備した撮像装置であって、収納位置と発光位置に移動可能に構成されたストロボ発光部を含む第一のユニットと調光センサの受光量に基づき前記ストロボ発光部の発光量を制御する発光量制御手段を含む第二のユニットから構成され、前記第一のユニットに前記発光部からの光を前記発光量制御手段に導く可撓性の導光装置が配置され、前記第一のユニットと前記第二のユニットを合体した状態で前記導光装置の射出部が前記発光量制御手段の受光部に対向するようにしたことを特徴とする。